



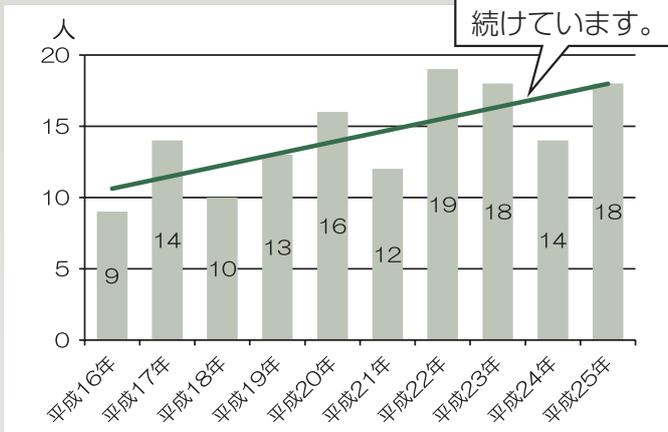
増え続ける がん死亡者

本村で「がんにより死亡する人」は、年間約14人(10年間平均)、過去10年間(平成16～25年)で143人に上ります。

がんの部位別に見ると、「肺がん」、「胃がん」、「大腸がん」の順に多くなっています。とくに「肺がん」で死亡する人は、がん全体の1/4を占めます。

他の死亡原因と比べても、がんが最も多く(その他を除く)、死亡全体の1/4を占めます。

がんの死亡者数の推移



ゆるやかですが、右肩あがりに増え続けています。

資料：津島保健所事業概要

がん部位別死亡数

平成20～24年 5年間	死亡者数	率(%)
胃がん	12	15.2
肺がん	20	25.3
大腸がん	9	11.4
子宮がん	2	2.5
乳がん	2	2.5
その他のがん	34	43.0
総数	79	

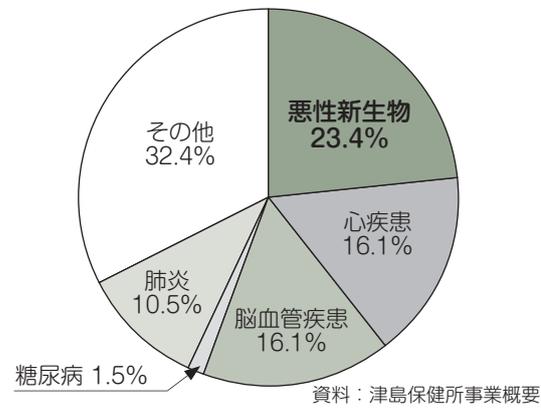
資料：愛知県衛生年報

選択死因別死亡割合(平成13～22年 10年間)

	悪性新生物(がん)	心疾患	脳血管疾患
飛島村	23.4%	16.1%	16.1%
平成22年 愛知県	29.5%	15.8%	10.3%

資料：津島保健所事業概要

死因別死亡割合(平成13年～22年 10年間)



資料：津島保健所事業概要

がんの予防のために・・・



①正しい生活習慣を心がける。

タバコ、多量飲酒、肥満、運動不足、野菜・果物摂取不足、塩分の過剰摂取は、がんの危険を高める要因です。とくに、**タバコは肺がんの危険要因**です。

②1年に1回、がん検診を受診する。検診結果で精密検査だった場合は、必ず精密検査を受け、がんでないかを確認する。

進行がんになる前の早期発見・治療によって、予後が大きく変わります。

今年度のがん検診については、4月末～5月初旬に配布する「健康診査案内」をご覧ください。